

新しい教育・研究スタイルへの対応に、アウトソーシングを戦略的に活用したい



早稲田大学 図書館
事務部長

本木 正人様

Top Interview 巻頭インタビュー

政治、経済、法律、文学、教育、芸術、スポーツなど様々な分野で日本の教育をリードしている早稲田大学。政治、経済をはじめ、研究、法曹、マスコミなど多方面で活躍する人材を輩出されています。

その早稲田大学の図書館は、国内の大学の中でも有数の蔵書数を誇っており、学内には中央図書館をはじめ、4つのキャンパス図書館（高田早苗記念研究図書館、戸山図書館、理工学図書館、所沢図書館）、教員図書室、学生読書室など、全21の図書館、図書室をお持ちです。

今回は、昨年6月に早稲田大学図書館 事務部長にご就任された本木様に、大学を取り巻く環境や図書館の現状、これまでのご経験など様々な角度からお話をうかがいました。

-大学図書館に対しての印象-

私 は、新卒で大学の職員となり、最初は情報部門、続いて学部事務所、情報部門に戻りまして、その後、昨年5月まで学術院事務長を務めておりました。これだけお伝えすると、昨年の6月に図書館の事務部長に異動になるまで、図書館との関わりがまったくないと思われてしまいますが、実は、最初の情報部門の所属の際に図書館学術情報システム課（当時）に半年間向出していました。当時は、現在の中央図書館開館を控えており、閉架式からどのように変わるべきかなどの集中討議に参加もしておりました。また、私のつながりのある人が図書館員であったり、約30年常駐して委託先責任者を務めていたり、他の方とは違った奇異な距離をおいて図書館を見ていたかもしれません。

前置きが長くなりましたが、現在の印象につながっていることとして、教室のICT、AV環境整備に携わっていた関係で、2010年だったでしょうか、「学びの空間が大学を変える」というセミナーに参加し、そこではじめて「ラーニングコモンズ」を意識しました。さらに、学部側にいた際に、新入生ガイダンスのみならず図書館員が授業教室に1コマ丸々支援を要請されることや、ライブラリーウィークの立看板を見て、図書館で脱出ゲームやコンサートをやる時代になったのだなど、静寂

なイメージからアクティブな方向への変化を感じていました。

アクティブな面がある一方で、身近な人が図書館に携わる仕事をしていたという特有の関係性から形成されてきたのかもしれません、本学では1990年から新卒司書職採用はなくしているものの、中核となる図書館員が館内異動をしながら時間をかけて養成されることは、あまり変わらない印象があり、また、古き良き図書館であり続けろという圧力と申しますか、莊厳な伝統的図書館の維持やサブジェクトライブラリアンの確保など、プレッシャーを受け続けている印象も持っていました。

-現在の大学をとりまく環境、図書館をめぐる変化や求められているもの-

「図書館に着任してから」を思い返してみると、まず、ジャーナル問題の深刻さと全く無縁でいたことを恥じなければなりません。大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）事務局に早稲田大学がはじめて出向者を送り出したことや、紙の購読料をベースとする学術院の拠出額が問題になるなど、学内ニュースとして接する機会はあったのですが、まさかこういう役割になると思つておらず、真剣に考えることはありませんでした。シリアルズ・クライシスの痛みが円高進行で遅発

となり、世界のオープンアクセスの世論に乗り遅れたとの講演資料を見たことがあります、その構造と似ているかもしれません。そもそも、大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力会議、JUSTICE、これから学術情報システム構築検討委員会、オープンアクセスリポジトリ推進協会（JP CORE）、学術情報流通推進委員会（SPARC Japan）といい、国公私立大学図書館協力委員会、私立大学図書館協会といい、集団的知性で闘っていくような取り組みにこれほどエネルギーを注がなければならないとは知らずにおりました。

前提知識に欠ける私が申し上げてよいものかわかりませんが、大学は、1991年の大学設置基準大綱化以降、慢性的に「改革」が求められています。その中にあって、図書館には図書館だけの改革が求められているかのような「ガラバゴス化」を感じています。2010年に文科省の審議会から出された「大学図書館の整備について（審議のまとめ）」に変革する大学にあって求められる大学図書館像ー」の中に「大学図書館が、学内諸組織から、重要な学術情報基盤であるとの信頼を得ることが前提であり」とありました。学内から信頼を得ていない、は言い過ぎでしょうが、図書館は学内組織と一緒に画していると書かれているとしか思えません。大学図書館の戦略的位置

置づけや大学図書館員の育成・確保など、今でも響いてくる内容がまとめられているのにとても残念に感じました。他方では、アクティブラーニングの一環として、従来の「教室の中で知識を伝達し復習してきなさい」を反転させ、たくさんの文献や最新データを読み込み教室授業ではディスカッションを中心とする方向に動いてきています。授業と授業の間に文献や最新データを読み込むための空間や機能として図書館の役割は非常に大きく結びついていきます。その方向性において、教育・学習スタイルの変化と一緒に図書館のあり方を追求したい思いがあるのに、図書館の利用法を含めた情報リテラシー教育があたかも授業とは別で独立して存在するかのように読めてしまうのも気になるところです。

役割の変化というご質問に直接お答えせず、「別世界」として扱われることが多いのではないかと正直に申し上げてしまいましたが、研究スタイルの面でもRead & Publishモデルが出されてきた電子資料への対応をはじめ、図書館で閉じることなくいろいろなところと関係性を持ちながら、活路を見出していくかなければならないと危機感を抱いております。

-図書館の役割や位置づけに関して- 21ある図書室・図書館の役割と現状

Webサイトで公開しているように「1.国内外の学術情報資源を収集管理し、本学の学生および教職員の利用に供する。」「2.本学の学術活動成果の公開と発信を支援する。」「3.国内外の研究図書館と連携し、世界の学術情報発展に寄与する。」という使命を、本学の建学の精神にもとづき、教育、研究および社会貢献活動を支援するためには図書館になりますが、今回は「多くの図書館、図書室」に焦点を当てながら申し上げます。

学術資料の所蔵情報や入手方法を調べるために早稲田大学図書館が提供するデータベース、これを図書館システム「WINE」と呼んでいますが、利用者からすればWINEを通じて紙資料と電子資料の両方を、また、図書・雑誌名だけでなく論文・記事名でも発見できるようにしています。重複収集を避け予算を有効活用する原則もあり、必要とする紙資料がある学部の図書室にだけ所蔵されていた場合、所属に関わらず誰でもそれを利用することができるようになっています。21の図書館・図書室がすぐそばに存在し、その所蔵資料が統合的に検索される状態になっていること自体は、経営効率に反しているかもしれません、利用者にとっては、図書館が遠い別世界ということにはならず、身近なうえに距離的に離れている図書館・図書室にしかない資料にもアクセスできる環境は本学にとって意味のあることだと思います。

しかし、この21の他に、WINEに参画していない学生読書室などもあるのです。

システム共同利用にも大きく踏み出しており、慶應義塾大学の資料をも同時に検索できるようになっています。その裏では、ふたつの大学が一体となって、書誌データの共同調達体制を整えてサービス向上と経費削減の両立を試みています。どの図書館も逼迫する予算問題があり、本学も例外ではありませんが、八方塞の状況下で一大学のスケールを飛び越えてコンソーシアムから出口を探ろうという時代に、いつまでも独立採算の学生読書室を維持していくよいのか、考えさせられてしまうところです。

また、経費の話に及んでしまいましたが、図書館・図書室の数や配置ばかりでなく、予算構造の難しさもあります。

図書資料費が「図書館の図書資料費」「各学部・大学院の図書資料費」「その他予算からの図書資料費」と多重構造になっています。この多重構造は重複投資削減の足かせとなり、紙の資料はそれぞれ身近な図書室に重複購入されてよいと割り切ることはできても、電子資料とりわけビッグデーター契約を中心とした学術情報基盤を継続できるか否かぎりぎりの局面では大きな制約になってしまいます。

たくさんの図書館・図書室があることは、利用者の利便性は高く、身近に感じてもらえる強みとなる一方で、予算の分散と多重構造という弱みにつながっていると思っています。

-変革しリーダー的存在の早稲田大学- 印象に残るこれまでの取り組み

非常に大きなテーマですが、私の経験の範囲から「印象に残る」ものを取り上げてみたいと思います。

経歴の中で教室環境の整備に触ましたが、本学ではTutorial English(1人のネイティブが4人以内の学生に対して受験英語を「使える」英語にしていく授業)、遠隔交流授業、オンデマンド授業など新たな教育プログラムのモデルを創出していました。その中で、Learning Management System(LMS)や、遠隔会議システム、スタジオ、教室自動収録システム(教室に固定カメラがあり、その場にいなくても事前にWebから予約をしておくと自動で収録される)などを早くから導入、活用してきました。この展開を陰で支えてきた存在として、デジタルキャンパスコンソーシアムという産学連携の仕組みが挙げられます。1999年の発足以来、3年単位のプロジェクトが7期に渡って継続していることが示すように、大学の有するコンテンツや知的資源と企業の情報化技術を融合させる取り組みは双方にとってメリットがあり、一大学の力ではおそらく実現できなかった教育基盤を先取りしながら整えられたと考えています。

一方、先駆的なハードウェア導入のみならず、常駐サポートや24時間ヘルプデスクなど運用体制もトータルで築き上げなければ、時間と空間を超える新たな教育スタイルに辿り着くことはでき

なかったと思われます。

本学は、学部ごと大学院ごとに事務所を構えてきました。オープン化を進め、また、2002年から全学部に共通するアカデミックリテラシー(Tutorial English、学術的文章の作成、数学基礎プラス等)を提供してきたにもかかわらず、学生は所属学部の他にこれらの科目を設置している事務所にも個別に相談にいかなければいけない状況になっていました。これを、2006年に新設した「早稲田ポータルオフィス」を中心に、全学部生にサービス展開する運用上の基盤を整えながら対応してきました。ワンストップでサービスしたい、課題解決・提案型プログラムのコーディネート拠点を作りたい、そのコーディネート拠点は学部毎ではなくひとつに集約されているべきだろう、そしてそこをテコに事務所手続きを標準化・集中化したいといった目的志向で構想したことがポイントでした。すでに存在する定型業務を切り出す発想ではなく、アウトソーシングを補助線のように活用して最適解を導こうとしていたとお考えいただければと思います。いわば「業務創造」によって頑として進まなかった学部ごとの違いにメスを入れて変革したことになりますが、今でも進化し続ける早稲田ポータルオフィスにアウトソーシングは不可欠なものでした。

偏った経験にはなりますが、このようにコンソーシアムとアウトソーシングが変革の鍵を握っていると感じる場面に立ち会ってこられたのは大きな財産になっています。

-挑戦し続ける早稲田大学- 今後のチャレンジ



*当インタビューは2月19日
に行いました。

本学のチャレンジについて個人レベルで語るものではありませんが、早稲田大学の一員として、総長が掲げる「世界で輝くWASEDA」に近づくために何をすべきか、職員としては、多様性をいかした強い組織をどう作っていくか、覚悟して歩んでいかなければならないと考えています。

図書館として申し上げるなら、早慶プロジェクトはまさに今後に向けたチャレンジに他なりません。紙と電子を統合した新しいサービスを展開し資料も充実させるには? コンソーシアムにより安定化とコスト削減を図り知識・経験も共有していくには? 2月25日に「早慶図書館の挑戦」と題したシンポジウムにおいて、早慶で自問し、皆さまにも問い合わせますので、協賛いただいている御社もぜひ新たなチャレンジをお支えください。

-弊社に対して期待されること-

早慶図書館の挑戦の一つに、OCLCへの登録、国際的な視認性アップを前提としながら、早慶で

目録情報を統合していく試みがあります。取り組む上では、先に申し上げた経験とも重なりますが今の仕事を切り出すのではなく、アウトソーシングを目的実現の一手段として戦略的に活用しています。選定期点のスキルをあまり求めず選定対象の幅を広げ、そこに参画くださるアウトソー

サーと「早慶目録ユニット」において新しい業務フローを確立させ、付加価値を生み出していきたいとの思いでスタートを切ったと引き継いでおります。コンソーシアムによる新たな挑戦の一端に腹をくくって手を挙げてくださったパートナーに何を求めるか…、改めて申し上げなくてもよいです

よね。

また、アウトソーシングもバネにしながら分散している図書室の標準化やサービス向上を図りましたと申し上げてまいりましたので、WINE非参画を含む数々の図書室の一翼を担っていただいている御社への期待は…、どうぞお察しください。

■ Interview

スタッフインタビュー

-経験を活かして、憧れだったものづくりに携わっています!!-

今回は、大阪市にある建築会社、建築現場近くの事務所にて、CADオペレーションや設計図修正のお仕事をしていただいている山内 実幸さんにお話を伺いました。キャリアパワーへの登録のきっかけから現在のお仕事について、趣味やご家族の話まで多岐にわたって語っていただいております。



大阪府大阪市
建築会社勤務
山内 実幸様

「会社勤めに復帰をしたい。」そう思い仕事を探し始めた時にキャリアパワーに出会いました。

ますキャリアパワーに登録したきっかけですが、これまででは、飲食関連でパートやアルバイトとして勤めておりましたが、「会社勤めに復帰をしたい」と思い、仕事をさがしておりました。自分の希望の条件から、おススメの派遣会社を紹介してくれるサイトがあり調べたところ、何社かリストアップされました。キャリアパワーはその中の1社でした。

自分がたずさわったものが形になる「ものづくり」の仕事は憧れでした。

建築関係、主に土木関連で勤めていた経験がありまして、昔からものづくりにはとても興味をもっていました。

父が建築関係の仕事をしていたこともあり、日常生活の中で図面をふれる機会が多くあり、小さい頃から「これ何?」と意味もなく父によく聞いていました。大きくなり、理解ができるようになってからは、「これが本当に形になるんだ!!自分が年をとりこの世にいなくなってしまってその建物が残るんだ!すごい!!」という気持ちがめばえ、自分が携わったものが形になっていく仕事ってすごいなという憧れに変わってきました。そんな強い思いもあり、会社勤め復帰を考えたときに、技術の仕事も探していました。ブランクもあるので、現実問題技術職はなかなか難しいかなあと、事務職もあわせて探していましたが、縁あって今の職場に技術職で働くことになり、自分でも驚いています。想定していたよりスムーズに決まり、色々と臨機応変に動いていただいたのだろうなあと感じています。

「1ミリ単位での誤差も許されない。」正確さを第一に、確認作業も怠らずに仕事に取り組んでいます。

現場の職人さんは、1ミリ単位で図面をみているので、図面をひく上で、正確さは必要不可欠です。仕事をするうえで、正確かつキチンとしたものを作ることを第一に取り組んでいます。「正確なものをを作る」ためには、聞くのが恥ずかしいなんて思っていたらダメだなど。これは、わからないなと思ったときには、実際に現場にでて、経験もたくさんつんでおられる方が、同じ職場にいらっしゃるので、その方にすぐに確認し教えてもらっています。職場のみなさんものすごくいい人たちなので、聞きやすい雰囲気で仕事がしやすい環境です。現場での仕事は男性の方が多く、ひとりでぼつーんとなるかなという不安もありましたが、事務員の女性がいらっしゃるのでひとりになることもなく安心して働けています。

イレギュラーな対応もありますが、周りの方に助けてもらいながら、やりがいを感じています。完成が楽しみです。

実際に現場を見に行くことはできないので、細かいところは写真を見せてもらったり、現場に行った方から話を聞いたりしながら対応しています。デザイナーズマンションということもあり、写真を見てもこれどうなってるの?!となることもあるんですが…。現場からも、作業上、先に必要な図面の依頼が入ったりと、イレギュラーな対応もありますが、所長さんはじめ周りの方に助けてもらいながら、頑張っています。

休日は、子供中心の生活です。習い事の空手のサポートと一緒に空手の型の練習をしています。

娘が空手を習っているので、休日はほぼ娘のサポートをしています。試合や遠征が月1回程度あり、試合が近ければ一緒に練習したりと、休日はほぼ空手行事です。東京オリンピックも近いので、娘と一緒にテレビ観戦するのを楽しみにしています。

■ Information

● ご存知ですか？ キャリアパワーのあかいドロップ



「This We Believe…」わたしたちキャリアパワーの信じるところ。その想いから生まれた小さな冊子が「キャリアパワーのあかいドロップ」です。出会うことができたすべてのスタッフの皆様の心に、私たちの想いをお伝えしたい。そして、一人でも多くの方の心に、その想いを留めてほしい。ずっと変わらぬ想いでお届けしています。ぜひご愛読ください。

ご希望の方に配布中です くわしくはスタッフ企画室まで!

TEL 0120-288-450 E-mail info@careerpower.co.jp

■Information

職場紹介

-しっかりとした研修制度もあり、電話対応がはじめてでも安心して働ける職場環境です-

今回は、健康食品や化粧品、オーラルケア用品、ヘアケア用品から 医薬品 まで、多岐にわたってお取り扱いをされているサンスター株式会社様へ就業中の皆さんにお仕事内容や職場環境などを教えていただきました!!

私たちの仕事は、通信販売お客様センターの業務全般です。

業務は多岐にわたり、ご注文からお問い合わせ、お届け関係、お支払い…と様々です。

非常に業務の種類が多く入社時は覚えることが大変ですが、チーム連携により、慣れない時期を何とか乗り切り、長期で勤務している人が多い!!というのが特徴です。

メンバーは25人いますが、在籍年数は、平均約7年となっています。

また、電話応対スキルはもちろんのことあらゆる業務スキルが身に付きます。

最近ではお客様へのお手紙によるコミュニケーションを強化しており、コミュニケーションの達人へと成長しています。



—どんな職場ですか?—

とにかく明るい職場です。

女性ばかり総勢40人ですが仲良しです。

—応対品質の取り組みについて教えてください—

業務の一環として、「電話応対コンクール」に全員でチャレンジしています。毎年県大会にも進んでいます。予選を突破するスタッフが、ふえることに比例して、お客様からもお褒めの言葉を多くいただいているです。

「あなたの対応が素晴らしいから」と指名が増えることで、個々の責任感が強まり、応対品質の向上につながっています。

—最後にひと言—

私たちはキャリアパワーとご縁があり、サンスター様をご紹介いただき、お互いを高めあえる仲間と出会うことができました!!

これからも志高く日々精進してまいります。



■Support Center News**学術サポートセンター通信 Vol.XII**

学術サポートセンター

洋書誌に使用される略語集

洋書の場合、単語全てを記入すると長くなってしまうため、略語を使用します。簡潔な記載で、内容が把握できるように工夫されています。
以下に、基本的な略語を紹介いたします。書誌を確認する際に参考にしてください。

略語	完全形	意味
Ann. / Annu.	annals/annual/annalen/annale/annali	年報、紀要、語録、報告書、年鑑
anon.	anonymous	作者不明
art.	article	記事、論文、論説
Aufl.	auflage	版
Ausg.	ausgabe	号、判
Bd.	band	巻
bibl. / bibliog.	bibliography	書誌、文献一覧
Bull.	bulletin	紀要、定期報告、会報、便覧
cf.	confer (=compare)	比較、参照、参考せよ
ch. / chap. / chaps.	chapter	章
col.	color	カラー
cong.	Congress	議会、会議
ed. / eds.	edited by / edition / editor	～編 / 版 / 編集者
e.g.	exempli gratia (=for example)	例
et al.	et alia (=and others) et alibi (=and elsewhere)	その他に～ / その他の場合に～
fasc.	fascicle	分冊
fig. / figs.	figure	図、図例、図解
hb. / hbk.	hardback	ハードカバー本(本装丁)
hft.	Heft	分冊、号
ill. / illus.	illustrated / illustration	挿絵、実例、図解、図入り
ISBN	International Standard Book Number	国際標準図書番号
ISSN	International Standard Serial Number	国際標準逐次刊行物番号
J.	journal	雑誌
N/A	not applicable / not available	適用不可、該当なし / 利用不可
n.d.	no date	日付不明、出版年記載なし
n.p.	no place / no publisher	出版地不明 / 発行者不明
n.pag	no pagination	頁付けなし
n. / no. / nos.	number	第～号
n.s. / NS	new series / new style	新シリーズ / 新スタイル
p. / pp.	page	ページ
par.	paragraph	節、頁、段落、パラグラフ
pb. / pbk.	paperback	ペーパーバック本(紙表紙本)
pt. / pts.	part	部、部分
pub.	published by / publication / publisher	(～によって)出版された / 出版 / 出版社、発行者
repn. / rpt.	reprint / reprinted	重版、翻刻
rept.	reported by / report	～によって報告された / 報告、議事録
sec. / sect. / secs.	section	節、段落、欄、項、条
[sic]	(=so, thus)	原文のまま
s.l.	sine loco (=no place of publication)	出版地不明
s.n.	sine nomine (=without name)	作者不詳
supp. / suppl.	supplement	付録、増刊、補遺
t. / tom.	tome	巻、冊
tab.	table	リスト、目録
T.O.C.	table of contents	目次
t.p.	title page	表紙
t.p.verso	title page verso	裏表紙
v. / vol. / vols.	volume	巻

■Information

金沢星稜大学図書館 展示



金沢星稜大学図書館 スタッフ企画展示

各 大学図書館では、スタッフが季節や行事にあわせて、工夫を凝らした展示をしています。それが得意分野を担当し、図書館の雰囲気に合った装飾をされています。
今回は、金沢星稜大学図書館で書道の得意なスタッフ(有段者!)が担当したものをお紹介します。文字だけでなく、辞典等から引用した語源の説明をつけることで、利用者の興味を引き、皆さん立ち止まって読まれていることが多いとのことです。

■Solution

営業サービス

キャリアパワーご提案サービス<一例>



派遣法、労働法の改正

人が採れない

最低賃金UP

働き方改革

昨 今「労働者派遣法の改正」や「労働契約法の改正」、また「人手不足による採用難」など頭を悩ませておられる企業様も多いと思います。その様な中、「働き方改革」や「最低賃金のUP」等々の対応も考えいかなければならず、悩みの種は尽きないと思います。

その悩みを弊社のプロ集団が「解決」のご提案をさせていただきます！

◆業務委託運営サービス

委託の範囲・適正な人員数・委託体制・管理方法等、豊富な実績をもとに最適な運営のご提案をさせていただきます。

「労働者派遣法による3年上限により、派遣による業務ノウハウの構築が困難。」「同一労働同一賃金の対応により、社員とパート・アルバイトを混在させた業務運営が困難。」「採用難が続く中、社員をよりコア業務に集中させたい」等のニーズにお応えします。

働くスタッフにとっても、労働者派遣法による3年上限の影響を受けず、安心して長期就業していただくことが可能です。安定した長期就業の中で、より業務品質の向上に貢献いただけることが期待できます。



<実績例>慶應義塾大学、早稲田大学、立命館大学、龍谷大学、
国立国会図書館関西館、大手メーカー、他

◆無期雇用派遣サービス

労働者派遣法による3年上限の規制を受けない、無期雇用スタッフを派遣させていただきます。

現行の他社派遣スタッフを一括で受け入れ、無期雇用スタッフとして契約させていただくことも可能です。

3年上限で多くのスタッフの交代が余儀なくされるなか、無期雇用にて安定したスタッフの確保が可能です。

<実績例>大手メーカー、有名私立大学、他

◆チーム派遣

複数のスタッフでシフト組まで完成させた状態で、チームで派遣します。

コールセンターや受付等、常時欠員なくスタッフ配置が必要な職場、あるいは業務の繁閑に応じてスタッフ数の変動が必要な職場において、煩雑なシフト管理に手をとられることなく、スタッフ配置が可能です。

<実績例>市役所、区役所、他

●法令遵守委員会

キ キャリアパワーは、労働者派遣法や労働基準法など各種労働法令を遵守し、常に適正な事業運営を果たすために、社内に法令遵守委員会を設置しています。定期的に派遣先を巡回、また社内監査を行ないながら、派遣契約内容を改めて見直し、法令の遵守が出来ているかの再チェックを行なっています。また、全社員に対して法令知識向上とコンプライアンス遵守の意識強化のために、定期的に研修会や勉強会を実施し、コンプライアンスの課題解決や事前防止の徹底を図っています。遵法精神を貫くことで、当社で働く派遣労働者、そして人材派遣を利用される全ての派遣先企業様に、よりいっそう満足して頂ける様、活動を行なっております。

派遣コンプライアンスに関する問合わせ先

株式会社キャリアパワー 法令遵守委員会

TEL 075-341-2929 E-mail support@careerpower.co.jp

キャリアパワー各支社へは、フリーコール 0120-154-450 にお気軽にお問合せください

東京: 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル 15F
大阪: 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング 2F
名古屋: 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-25-9 堀内ビル8F
京都: 〒600-8216 京都府京都市下京区塙小路通烏丸西入東塙小路町843-2 日本生命京都ヤサカビル4F
滋賀: 〒525-0025 滋賀県草津市西洪川1-1-3 リバティーハウス4F
システムセンター: 〒600-8269 京都府京都市下京区七条通堀川西入西八百屋町160

TEL.03-6895-2929(代) FAX.03-6895-2911
TEL.06-6346-2929(代) FAX.06-6345-1268
TEL.052-563-2929(代) FAX.052-563-3511
TEL.075-341-2929(代) FAX.075-341-3828
TEL.077-501-9292(代) FAX.077-501-9200
TEL.075-344-6776(代) FAX.075-344-6780

発行
株式会社 キャリアパワー
企画／制作
株式会社 キャリアクリエイト
2020.4.15発行